

花鳥風月・俳句

一雫つぼみに落ちる淡い雨

青野菜出荷を惜しむ親心

小野 弘幸

子すずめの食べる稲穂も刈りのこす

紅白の千両育種今日を生く

菊花展苦労話しを語り合い

曾我部 福石

秋灯下あいたい人に文綴る

今城 宏子

秋めいて氣候良くなり木々元気

広々と白鷺去りを刈田かな

明星  
勲

今日植えたスナックエンドたのしみに

瀬戸の海日発煙たなびいて

よく出来た大根白菜鍋ばかり

加藤  
イサ子

冬日向選んで布団干しにけり

冬ざるるもうやることはなきゴルフ

御用納め医師が声高移転なし

徳永  
誠一

剪定の透き間の光り夕日かな

草の絮小川にゆれし川渡る

山茶花の咲き乱れるや公園に

篠原 高代

彩たがへ風に追はるる落葉かな

湯上りの至福の刻や蜜柑手に

老の身を励まし合ひし日向ぼこ

鈴木 伊都美

留守宅の電話しきりと十二月

越智 恵美子

老い歩む日課に入れし山眠る

青かびや主亡き地藏冬めく目

笹井 久江

郡生の水仙香る草引きす

突風や玄関マツト道連れに

石井 トシ子

餌探す鴉一羽の寒さかな

この道は幼きままや芒原

塗堀 良子

百歳の引き算体操うすら寒

飽きもせず大根レシピ冬ぬくし

猪谷 マツ子

つるし柿オレンジ色に輝いて

若かりし淡き思いの秋神戸

準夜勤終えて屋台のおでんかな

小野宮子

一文字で世相表わす「金」の冬

乱立す皇帝ダリア顎上げ見

小林泰子

海原に向きて合唱天高し

六十年蜜柑を摘みて卒寿なる

三浦シズ子

あこがれの城よ紅葉の上に立つ

手を引かれ天守閣まで紅葉晴

森本 郁子

鴨の群れ潮先狭しとえさを取る

津島 美智子

温室は赤白ピンクのシクラメン

はなやぎ咲きて師走安らふ

土岐 郁子

吊し柿蜜の輝やく日和かな

越智 和人